

2016 年度 学校関係者評価委員会① 開催記録

日時	2017 年 3 月 8 日 (水)	場所	中村学園 N タワー 1F	進行	中原
出席者	中原 章統 (株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー) 飯高 健 (一般社団法人日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表) 片岡 新一郎 (一般社団法人日本美容師連盟 有限会社アルター代表) 田村 英介、冨澤 邦明、前田 毅 (学校職員、オブザーバー参加)				
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会 記 録	<p>1. 職業実践専門課程の状況報告</p> <p>(1) 最新版 全国の美容系専門学校の認定校一覧 平成 28 年 2 月 19 日現在 学校数 833 (29.5%) 学科数 2,540 (36.2%) ※全専門学校数 (2,823 校)、修業年限 2 年以上の全学科数 (7,023 学科) に占める割合。 分野別 衛生は 244 学科 (28.6%)</p> <p>2. 16 年度の取組み</p> <p>(1) 学校運営について 2016 年 4 月 1 日校名変更してスタート。 事業本部も独立運営開始。 後期に入り、学生指導において課題等が発生したが、美容師国家試験については講師の先生方の力も借りて乗り切れ、全員合格の見通しがたった。</p> <p>(2) 学生状況について 2016 年 4 月 1 日現在 90 名在籍 (2 年生 25 名、1 年生 65 名) 2017 年 2 月末 現在 80 名在籍 (2 年生 23 名、1 年生 57 名) 2017 年 4 月予定 130 名在籍 (新 2 年生 56 名、新 1 年生 74 名)</p> <p>(3) 就職状況について 卒業生 23 名全員内定 (卒業生就職率 100%) 内訳県内 15 名 (65%)、県外 8 名 (35%)</p> <p>(4) 学生募集 (2017 年度生結果と 2018 年度生募集) について 2017 年度生募集定員 80 名⇒120 名に変更した。 訴求のポイントについて説明した。</p> <p>(5) 地域貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月に KHP プロジェクト開催 (千葉市主催) ・ 12 月に KHP プロジェクト開催 (中村学園主催) ・ 8 月にファンキーフレッシュファクトリー参加 (JBA 主催) 				

3. 学園生活アンケートについて

(1) 16年度結果

1. 1年次の授業について

満足度の低下への改善策はあるのか？

⇒原因・要因を今後学生からヒアリングを行い対処していく。

⇒普通評価が満足による様に、改善していきたい。

2. 資格について

3. 学校教職員の対応について

4. 施設・設備について

⇒ロッカー使用ルールの見直しをしてはどうか。

新入生が増えることもあるので職員で見直し運用していく。

5. 本校への入学について

規則が不満な原因は？

⇒忘れ物・居眠りにのルールに対する教員の指導と学生の意識にギャップがある。

ルールの見直しをした方が良いのでは。忘れないような罰則を設けてみては。

説明不足が招いているのではないか。ルールを自分たちで認識させていく。

当然のことでも、楽しく行うため、自分たちで考えさせるような考え方の環境作り。

⇒2:6:2の法則でどこを改善していくのかを明確にしてみても。

教員や学生にヒアリングをしていき、本質を探り改善を図っていく。

⇒普通をとって4択にしたらどうなるか。

学園共通項目となっているので、今後検討していく。

⇒教員個人の指導方針を見直しては。

次年度は講師も含めて学校共通認識を統一していく。

⇒入学前とのギャップが結果こうなっているのでは。

伝えていくタイミングや内容を検討していく。

4. 2017年度の運営方針

学生・地域・社会から必要とされる専門学校になれるよう、全職員が一丸となって学生指導にあたる。教職員の入れ替わりもあるが、学生中退率の改善・学生満足度の向上を目指す。

担任・副担任の連携を強化するため、円滑なコミュニケーションが図れる組織運営を行う。

配布資料

①職業実践専門課程関連資料

②就職活動状況一覧表

③2018年度生募集入学案内書

④16年度KHPプロジェクト告知

以上